

# 令和3年度宮崎支部医療費分析データ

---

## 【課題1～4】

- ・疾病分類別一人あたり医療費
- ・健診結果および問診結果によるリスク保有率
- ・業態別リスク保有率

# 疾病分類別 1人あたり医療費の地域差指数－1の寄与度 (疾病分類が不明なものを除く。)

## &lt;入院&gt;

年度	I 感染症及び寄生虫症	II 新生物	III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害	IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	V 精神及び行動の障害	VI 神経系の疾患	VII 眼及び付属器の疾患	VIII 耳及び乳様突起の疾患	IX 循環器系の疾患	X 呼吸器系の疾患
2019	▲ 0.001	0.005	0.000	0.003	0.005	0.001	0.004	0.000	▲ 0.004	▲ 0.005
2020	0.002	0.006	0.003	0.002	0.002	0.003	0.003	0.000	0.001	▲ 0.006
2021	▲ 0.001	▲ 0.002	0.000	0.002	0.004	▲ 0.001	0.004	▲ 0.000	0.014	▲ 0.008

年度	X I 消化器系の疾患	X II 皮膚及び皮下組織の疾患	X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IV 腎尿路生殖器系の疾患	X V 妊娠、分娩及び産じょく	X VI 周産期に発生した病態	X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	X X 特殊目的コード
2019	0.004	0.000	0.013	0.001	0.024	▲ 0.003	▲ 0.004	0.000	0.013	▲ 0.000
2020	0.008	▲ 0.001	0.016	0.002	0.023	▲ 0.001	▲ 0.008	0.001	0.014	▲ 0.006
2021	0.008	▲ 0.000	0.010	0.002	0.022	▲ 0.005	▲ 0.007	0.000	0.010	▲ 0.023

## &lt;入院外&gt;

年度	I 感染症及び寄生虫症	II 新生物	III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害	IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	V 精神及び行動の障害	VI 神経系の疾患	VII 眼及び付属器の疾患	VIII 耳及び乳様突起の疾患	IX 循環器系の疾患	X 呼吸器系の疾患
2019	▲ 0.003	▲ 0.008	▲ 0.004	▲ 0.008	▲ 0.006	▲ 0.002	▲ 0.004	▲ 0.001	0.012	▲ 0.002
2020	▲ 0.001	▲ 0.009	▲ 0.003	▲ 0.008	▲ 0.006	▲ 0.003	▲ 0.003	▲ 0.001	0.012	0.005
2021	▲ 0.000	▲ 0.013	▲ 0.001	▲ 0.009	▲ 0.005	▲ 0.004	▲ 0.004	▲ 0.001	0.012	▲ 0.000

年度	X I 消化器系の疾患	X II 皮膚及び皮下組織の疾患	X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IV 腎尿路生殖器系の疾患	X V 妊娠、分娩及び産じょく	X VI 周産期に発生した病態	X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	X X 特殊目的コード
2019	▲ 0.003	▲ 0.005	▲ 0.001	0.001	0.001	▲ 0.001	0.001	▲ 0.003	0.002	▲ 0.000
2020	▲ 0.002	▲ 0.006	0.002	0.001	0.001	▲ 0.001	0.001	▲ 0.003	0.002	▲ 0.002
2021	▲ 0.004	▲ 0.006	0.001	▲ 0.000	0.001	▲ 0.001	0.001	▲ 0.004	0.001	▲ 0.008

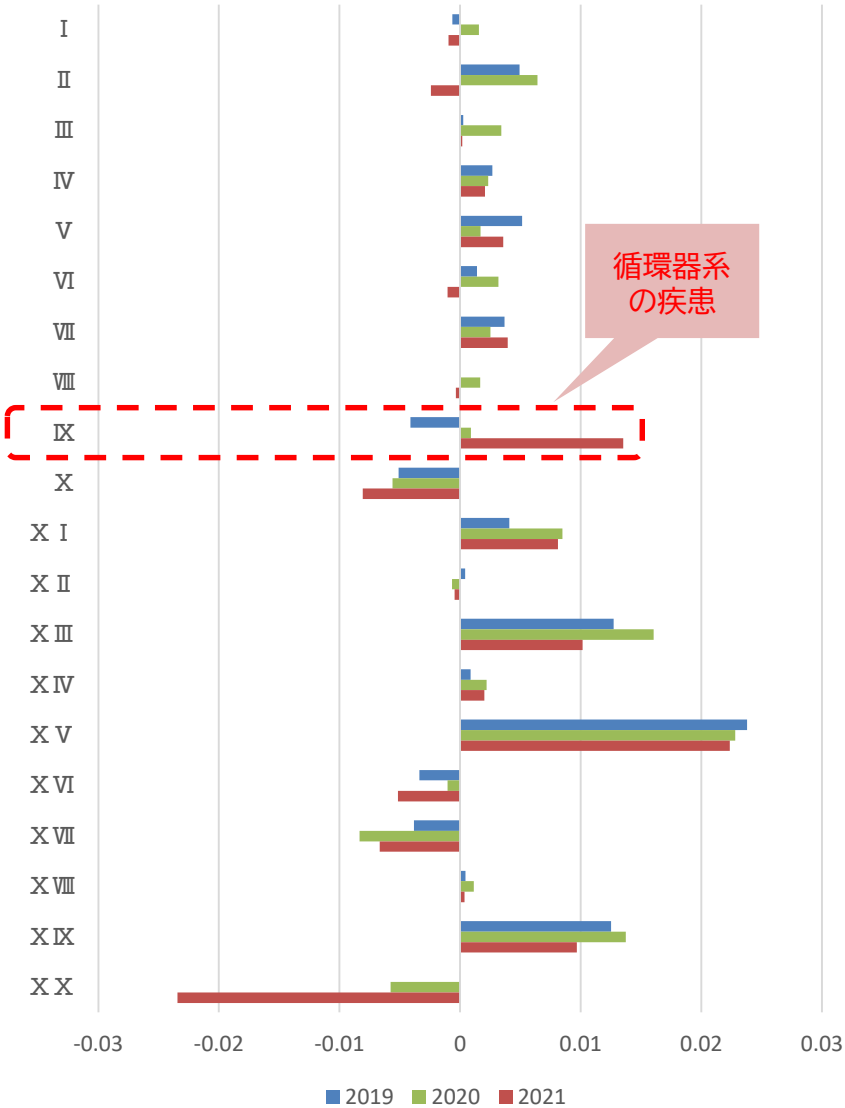
※1 地域差指数は年齢調整後のものである。

※2 疾病が不明のものは掲載していないため、各疾病の地域差指数－1の寄与度の合計は診療種別(入院・入院外)の1人あたり医療費の地域差指数－1に一致しない場合がある。

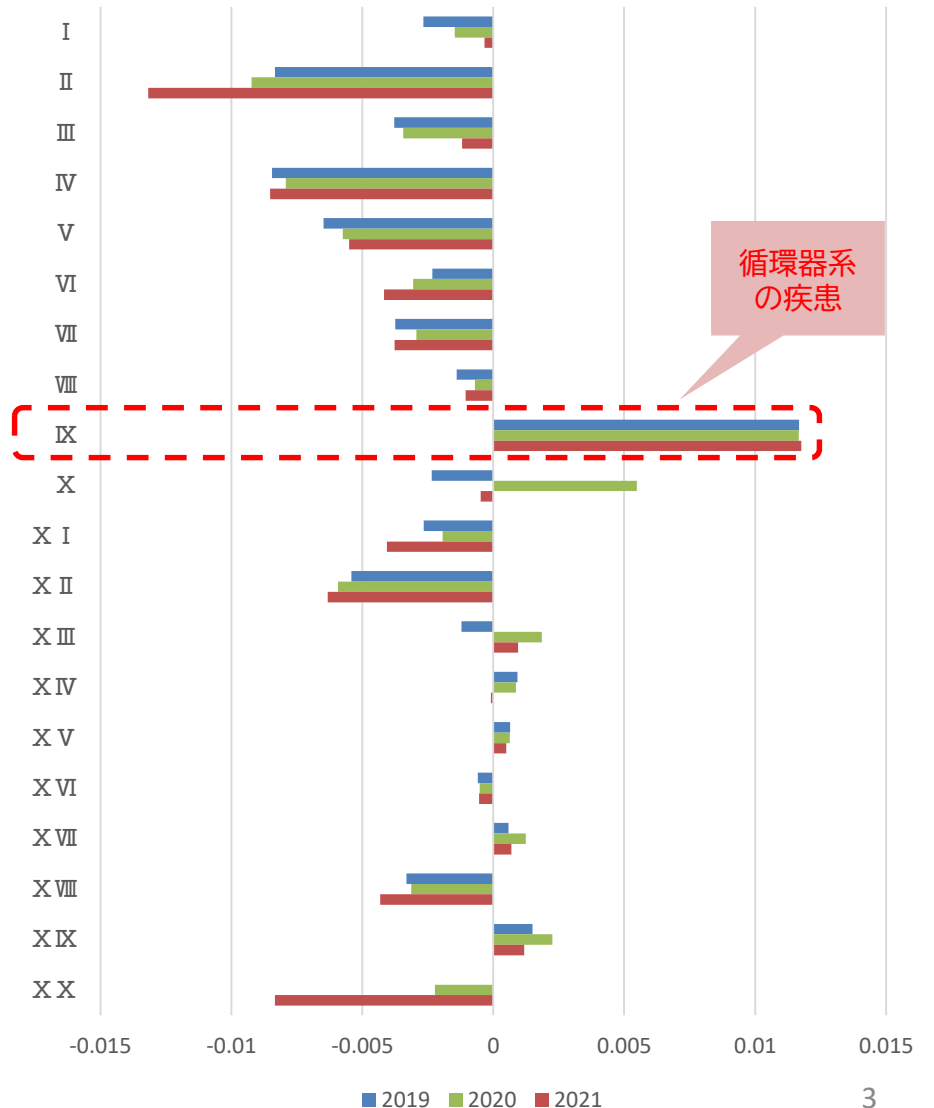
※地域差指数-1が0.01を超えている場合は、表のセルが塗色されている。

# 疾病分類別 1人あたり医療費の地域差指数 - 1 の寄与度 (疾病分類が不明なものを除く。)

疾病分類別1人あたり医療費の地域差指数-1の寄与度(入院)



疾病分類別1人あたり医療費の地域差指数-1の寄与度(入院外)



# 1.健診受診率 & 2.健診・問診結果

## 1. 健診受診率等

年度	生活習慣病予防健診受診率	事業者健診データ取得率	特定健診受診率	特定保健指導実施率	勧奨後3月以内受診率	コラボヘルス宣言事業所数
2019	57.0%	5.7%	19.3%	32.1%	10.4%	250
2020	56.6%	6.5%	18.5%	22.4%	9.0%	323
2021	59.5%	7.9%	21.4%	22.3%	11.5%	459

※「勧奨後3月以内受診率」の2021年度について、レポートによる受診状況が確認できる2021年7月健診受診分(2022年1月発送分)までを集計対象としている。

## 2. 健診結果及び問診結果

年度	①メタボリックシンドロームのリスク保有率		②メタボリックリスク予備群の割合		③腹囲のリスク保有率		④血圧のリスク保有率		⑤脂質のリスク保有率	
		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1
2019	15.9%	0.024	13.9%	0.024	38.3%	0.037	42.0%	0.003	29.5%	0.025
2020	16.6%	▲ 0.001	14.0%	0.005	38.6%	0.016	44.8%	0.013	29.5%	▲ 0.013
2021	16.8%	0.024	14.3%	0.034	38.9%	0.030	45.7%	0.033	29.5%	0.000

年度	⑥代謝のリスク保有率		⑦喫煙者の割合		⑧BMIのリスク保有率		⑨中性脂肪のリスク保有率		⑩HDLコレステロールのリスク保有率	
		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1
2019	15.5%	0.031	34.3%	0.055	32.7%	0.057	21.5%	0.029	6.7%	0.265
2020	15.9%	0.039	33.6%	0.063	33.5%	0.038	21.2%	▲ 0.020	6.3%	0.173
2021	16.3%	0.053	33.3%	0.078	33.9%	0.054	20.6%	0.002	6.4%	0.243

年度	⑪体重10kg以上増加者の割合		⑫運動習慣要改善者の割合		⑬食事習慣要改善者の割合		⑭飲酒習慣要改善者の割合		⑮睡眠で休養が取れていない者の割合	
		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1
2019	43.0%	0.038	71.3%	0.019	53.3%	▲ 0.022	13.5%	▲ 0.039	38.8%	▲ 0.039
2020	43.6%	0.031	70.3%	0.009	51.9%	▲ 0.010	12.7%	▲ 0.061	36.0%	▲ 0.017
2021	45.1%	0.062	69.9%	0.011	51.9%	▲ 0.018	12.2%	▲ 0.060	33.1%	▲ 0.103

※1 生活習慣病予防健診及び事業者健診の健診結果及び問診結果を集計対象としている。

※2 地域差指数は年齢調整後のものである。

※地域差指数-1が0.01を超えている場合は、表のセルが塗色されている。

# 健診結果および問診結果の基準

## 健診結果及び問診結果の基準

項目	基準	項目	基準
①メタボリックシンドロームのリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・③かつ④～⑥のうち2項目以上に該当</li> <li>・分母は集計対象データ総数</li> </ul>	⑩HDLコレステロールのリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HDLコレステロール40mg/dl未満</li> <li>・分母はHDLコレステロールの検査値のあるデータの総数</li> </ul>
②メタボリックリスク予備群の割合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・③かつ④～⑥のうち1項目に該当</li> <li>・分母は集計対象データ総数</li> </ul>	⑪体重10kg以上増加者の割合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分子は「20歳の時の体重から10kg以上増加している」に「はい」と回答した者の数</li> <li>・分母は上記に関する回答のあるデータの総数</li> </ul>
③腹囲のリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内臓脂肪面積が100cm<sup>2</sup>以上</li> <li>・内臓脂肪面積の検査値がない場合は、腹囲が男性で85cm以上、女性で90cm以上</li> <li>・分母は当該リスクの判定が可能なデータの総数</li> </ul>	⑫運動習慣要改善者の割合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分子は「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上1年以上実施している」、「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施」、「ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い」に2問以上「いいえ」と回答した者の数</li> <li>・分母は上記に関する回答のあるデータの総数</li> </ul>
④血圧のリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、または高血圧に対する薬剤治療あり</li> <li>・分母は当該リスクの判定が可能なデータの総数</li> </ul>	⑬食事習慣要改善者の割合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分子は「人と比較して食べる速度が速い」に「速い」と回答、「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある」に「はい」と回答、「朝食を抜くことが週に3回以上ある」に「はい」と回答、「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある」に「はい」と回答、これらのうち2項目以上に該当する者の数</li> <li>・分母は上記に関する回答のあるデータの総数</li> </ul>
⑤脂質のリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、または脂質異常症に対する薬剤治療あり</li> <li>・分母は当該リスクの判定が可能なデータの総数</li> </ul>	⑭飲酒習慣要改善者の割合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度」に「毎日」と回答し、かつ「飲酒日の1日当たりの飲酒量」に「2～3号未満」「3号以上」と回答、もしくは「お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度」に「時々」と回答し、かつ「飲酒日の1日当たりの飲酒量」に「3号以上」と回答した者の数</li> <li>・分母は上記に関する回答のあるデータの総数</li> </ul>
⑥代謝のリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空腹時血糖110mg/dl以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり</li> <li>・空腹時血糖の検査値がない場合は、HbA1c 6.0%以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり</li> <li>・分母は当該リスクの判定が可能なデータの総数</li> </ul>	⑮睡眠で休養が取れていない者の割合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分子は「睡眠で休養が十分とれている」に「いいえ」と回答した者の数</li> <li>・分母は上記に関する回答のあるデータの総数</li> </ul>
⑦喫煙者の割合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分子は「現在、たばこを習慣的に吸っている」に「はい」と回答した者の数</li> <li>・分母は上記に関する回答のあるデータの総数</li> </ul>		
⑧BMIのリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BMI25以上</li> <li>・分母はBMIの値のあるデータの総数</li> </ul>		
⑨中性脂肪のリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中性脂肪150mg/dl以上</li> <li>・分母は中性脂肪の検査値のあるデータの総数</li> </ul>		

業態別**血圧**リスク保有率の地域差指数 - 1 の寄与度

## &lt;血圧のリスク保有率&gt;

年度	1農林水産業	2鉱業・採石業・砂利採取業	3総合工事業	4職別工事業	5設備工事業	6食料品・たばこ製造業	7繊維製品製造業	8木製品・家具等製造業	9紙製品製造業	10印刷・同関連産業
2019	0.048	0.003	0.022	▲ 0.001	0.004	0.022	0.001	0.005	▲ 0.003	▲ 0.004
2020	0.045	0.004	0.023	0.002	0.002	0.020	0.004	0.008	▲ 0.003	▲ 0.004
2021	0.047	0.004	0.026	0.002	0.002	0.024	0.004	0.007	▲ 0.003	▲ 0.003

年度	11化学工業・同類似業	12金属工業	13機械器具製造業	14その他の製造業	15電気・ガス・熱供給・水道業	16情報通信業	17道路貨物運送業	18その他の運輸業	19卸売業	20食料品以外の小売業
2019	▲ 0.011	▲ 0.019	▲ 0.040	0.008	0.002	0.004	▲ 0.017	▲ 0.007	▲ 0.017	0.017
2020	▲ 0.011	▲ 0.019	▲ 0.041	0.009	0.000	0.003	▲ 0.022	▲ 0.004	▲ 0.012	0.020
2021	▲ 0.009	▲ 0.020	▲ 0.039	0.007	0.001	0.003	▲ 0.022	▲ 0.008	▲ 0.014	0.018

年度	21食料品小売業	22無店舗小売業	23金融・保険業	24不動産業	25物品賃貸業	26学術研究機関	27専門・技術サービス業	28飲食店	29宿泊業	30対個人サービス業
2019	▲ 0.004	▲ 0.001	0.002	▲ 0.008	0.001	▲ 0.001	▲ 0.003	▲ 0.008	▲ 0.001	0.001
2020	▲ 0.006	▲ 0.001	0.004	▲ 0.007	0.001	▲ 0.001	▲ 0.002	▲ 0.007	0.001	0.002
2021	▲ 0.005	▲ 0.001	0.005	▲ 0.007	0.001	▲ 0.001	▲ 0.001	▲ 0.007	▲ 0.001	0.002

年度	31娯楽業	32教育・学習支援業	33医療業・保健衛生	34社会保険・社会福祉・介護事業	35複合サービス業	36職業紹介・労働者派遣業	37その他の対事業所サービス業	38修理業	39廃棄物処理業	40政治・経済・文化団体
2019	0.003	▲ 0.003	0.010	0.009	0.020	▲ 0.009	▲ 0.012	▲ 0.002	0.009	0.001
2020	0.004	▲ 0.002	0.011	0.006	0.019	▲ 0.008	▲ 0.013	▲ 0.003	0.010	0.000
2021	0.003	▲ 0.004	0.011	0.012	0.020	▲ 0.008	▲ 0.011	▲ 0.002	0.008	0.001

年度	41その他のサービス業	42公務
2019	▲ 0.005	▲ 0.013
2020	▲ 0.006	▲ 0.014
2021	▲ 0.007	▲ 0.005

※地域差指数-1が0.01を超えている場合は、表のセルが塗色されている。

## 業態別脂質リスク保有率の地域差指数 - 1の寄与度

&lt;脂質のリスク保有率&gt;

年度	1農林水産業	2鉱業・採石業・砂利採取業	3総合工事業	4職別工事業	5設備工事業	6食料品・たばこ製造業	7繊維製品製造業	8木製品・家具等製造業	9紙製品製造業	10印刷・同関連産業
2019	0.047	0.004	0.028	0.001	0.012	0.019	▲ 0.001	0.004	▲ 0.002	▲ 0.002
2020	0.043	0.005	0.025	0.001	0.004	0.019	0.002	0.007	▲ 0.002	▲ 0.004
2021	0.046	0.005	0.026	0.001	0.005	0.020	0.002	0.006	▲ 0.002	▲ 0.003

年度	11化学工業・同類似業	12金属工業	13機械器具製造業	14その他の製造業	15電気・ガス・熱供給・水道業	16情報通信業	17道路貨物運送業	18その他の運輸業	19卸売業	20飲食料品以外の小売業
2019	▲ 0.008	▲ 0.017	▲ 0.036	0.010	0.003	0.005	▲ 0.017	▲ 0.013	▲ 0.020	0.018
2020	▲ 0.009	▲ 0.018	▲ 0.040	0.007	0.000	0.006	▲ 0.021	▲ 0.009	▲ 0.017	0.014
2021	▲ 0.008	▲ 0.019	▲ 0.038	0.007	0.001	0.004	▲ 0.020	▲ 0.010	▲ 0.018	0.016

年度	21飲食料品小売業	22無店舗小売業	23金融・保険業	24不動産業	25物品賃貸業	26学術研究機関	27専門・技術サービス業	28飲食店	29宿泊業	30対個人サービス業
2019	▲ 0.002	▲ 0.001	0.002	▲ 0.009	0.001	▲ 0.001	▲ 0.006	▲ 0.006	0.001	0.001
2020	▲ 0.007	▲ 0.001	0.005	▲ 0.008	0.000	▲ 0.001	▲ 0.006	▲ 0.006	0.001	0.000
2021	▲ 0.005	▲ 0.001	0.005	▲ 0.008	▲ 0.000	▲ 0.001	▲ 0.006	▲ 0.006	0.001	0.001

年度	31娯楽業	32教育・学習支援業	33医療業・保健衛生	34社会保険・社会福祉・介護事業	35複合サービス業	36職業紹介・労働者派遣業	37その他の対事業所サービス業	38修理業	39廃棄物処理業	40政治・経済・文化団体
2019	0.003	▲ 0.002	0.009	0.007	0.023	▲ 0.009	▲ 0.012	▲ 0.004	0.013	0.001
2020	0.003	▲ 0.003	0.005	0.000	0.021	▲ 0.009	▲ 0.013	▲ 0.003	0.013	0.001
2021	0.003	▲ 0.004	0.005	0.005	0.021	▲ 0.009	▲ 0.012	▲ 0.004	0.012	0.001

年度	41その他のサービス業	42公務
2019	▲ 0.007	▲ 0.012
2020	▲ 0.007	▲ 0.013
2021	▲ 0.008	▲ 0.009

※地域差指数-1が0.01を超えている場合は、表のセルが塗色されている。



## 業態別代謝リスク保有率の地域差指数－1の寄与度

&lt;代謝のリスク保有率&gt;

年度	1農林水産業	2鉱業・採石業・砂利採取業	3総合工事業	4職別工事業	5設備工事業	6食料品・たばこ製造業	7繊維製品製造業	8木製品・家具等製造業	9紙製品製造業	10印刷・関連産業
2019	0.056	0.007	0.031	0.002	0.007	0.023	▲ 0.000	0.008	▲ 0.003	▲ 0.002
2020	0.053	0.008	0.029	0.003	0.004	0.023	0.005	0.010	▲ 0.003	▲ 0.003
2021	0.051	0.009	0.035	0.002	0.004	0.022	0.005	0.010	▲ 0.003	▲ 0.003

年度	11化学工業・同類似業	12金属工業	13機械器具製造業	14その他の製造業	15電気・ガス・熱供給・水道業	16情報通信業	17道路貨物運送業	18その他の運輸業	19卸売業	20飲食料品以外の小売業
2019	▲ 0.008	▲ 0.019	▲ 0.034	0.004	0.003	0.003	▲ 0.013	▲ 0.012	▲ 0.016	0.015
2020	▲ 0.009	▲ 0.018	▲ 0.034	0.009	0.001	0.002	▲ 0.020	▲ 0.004	▲ 0.017	0.020
2021	▲ 0.009	▲ 0.018	▲ 0.033	0.006	0.002	0.002	▲ 0.018	▲ 0.012	▲ 0.013	0.015

年度	21飲食料品小売業	22無店舗小売業	23金融・保険業	24不動産業	25物品賃貸業	26学術研究機関	27専門・技術サービス業	28飲食店	29宿泊業	30对个人サービス業
2019	▲ 0.000	▲ 0.001	▲ 0.000	▲ 0.011	▲ 0.000	▲ 0.001	▲ 0.005	▲ 0.007	▲ 0.000	0.002
2020	▲ 0.004	▲ 0.001	0.002	▲ 0.008	0.000	▲ 0.001	▲ 0.005	▲ 0.006	0.002	0.002
2021	▲ 0.001	▲ 0.002	0.002	▲ 0.009	0.000	▲ 0.001	▲ 0.004	▲ 0.007	▲ 0.000	0.002

年度	31娯楽業	32教育・学習支援業	33医療業・保健衛生	34社会保険・社会福祉・介護事業	35複合サービス業	36職業紹介・労働者派遣業	37その他の対事業所サービス業	38修理業	39廃棄物処理業	40政治・経済・文化団体
2019	0.003	▲ 0.002	0.004	0.010	0.021	▲ 0.009	▲ 0.013	▲ 0.003	0.013	▲ 0.002
2020	0.004	▲ 0.003	0.005	0.002	0.022	▲ 0.007	▲ 0.011	▲ 0.002	0.013	▲ 0.002
2021	0.004	▲ 0.003	0.009	0.011	0.022	▲ 0.008	▲ 0.012	▲ 0.003	0.011	▲ 0.000

年度	41その他のサービス業	42公務
2019	▲ 0.004	▲ 0.013
2020	▲ 0.005	▲ 0.013
2021	▲ 0.006	▲ 0.005

※1 生活習慣病予防健診及び事業者健診の健診結果及び問診結果を集計対象としている。

※2 地域差指数は年齢調整後のものである。

※3 任意継続のもの及び業態が不明のものは掲載していないため、各業態の地域差指数－1の寄与度の合計は血圧、脂質、代謝のリスク保有率の地域差指数－1に一致しない場合がある。

※地域差指数-1が0.01を超えている場合は、表のセルが塗色されている。



## 【課題5】

「妊娠・分娩および産じょく」に関する医療費について

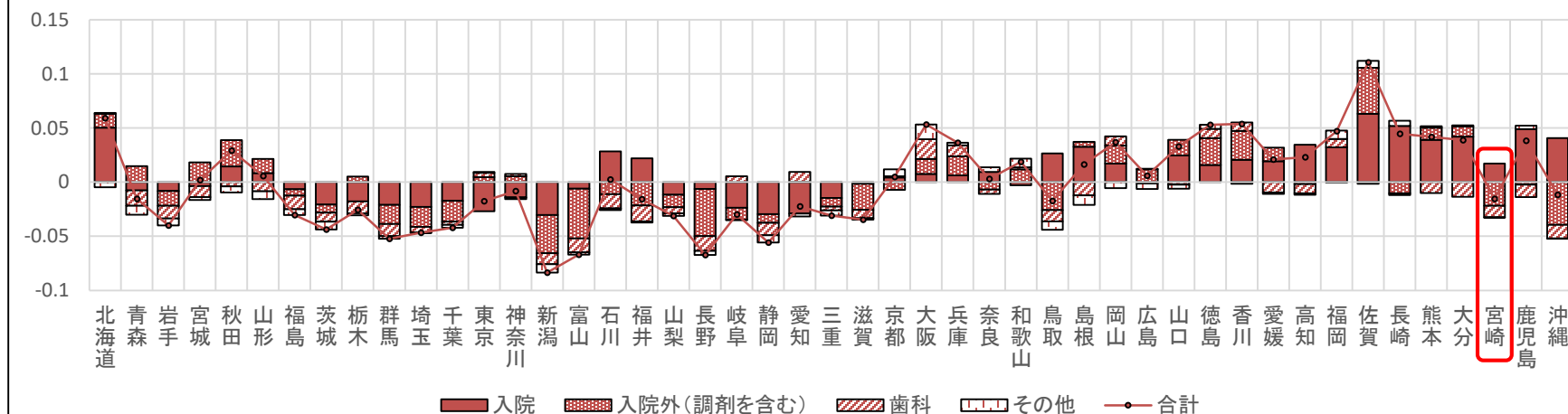
## 分析の前提となる状況

本部資料の内容を説明する前に、全国の状況を確認しておく。

下記のグラフは2019年度のものであるが、医療費の水準は一般に西高東低と呼ばれる通り、西日本の医療費が高く、九州地方は宮崎・沖縄以外の支部で医療費が全国平均を上回る状態である。

宮崎支部は、入院医療費が全国平均を上回っているが、九州地方の中で見ると、医療費水準は比較的抑えられている状態が続いている。

2019年度 支部別地域差指数-1(年齢調整後)



## 疾病分類別に見た地域差

入院医療費が全国平均を上回っていたが、本部資料を確認すると、宮崎支部の入院医療費は「XV 妊娠、分娩及び産じょく」（以下、「妊娠等」という。）が最も全国平均を上回っている事がわかる。

これは2019年度から3年間続いている。

2-2. 疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度(疾病分類が不明なものを除く。)

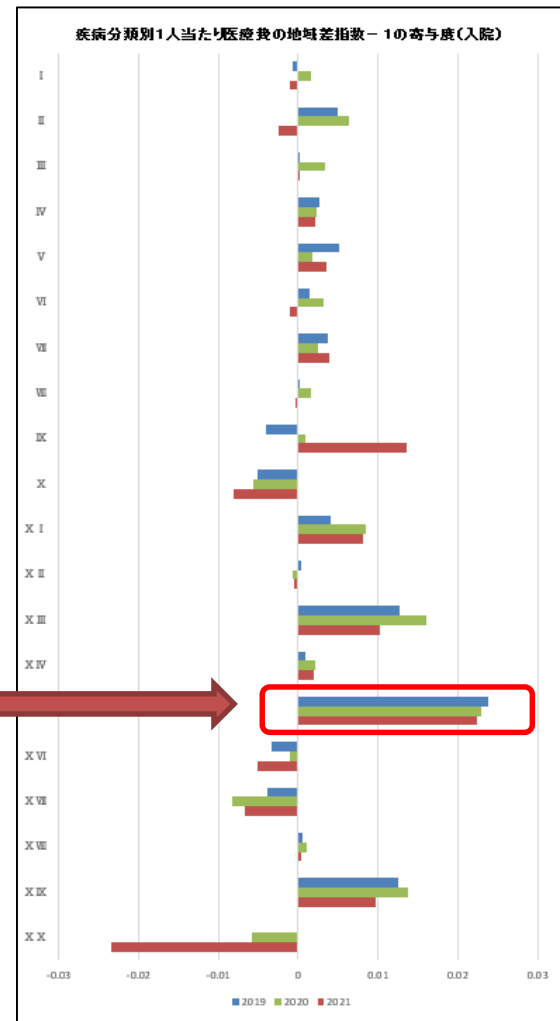
<入院>

年度	I 感染症及び寄生虫症	II 新生物	III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害	IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	V 精神及び行動の障害	VI 神経系の疾患	VII 眼及び付属器の疾患	VIII 耳及び乳突突起の疾患	IX 循環器系の疾患	X 呼吸器系の疾患
2019	▲ 0.001	0.005	0.000	0.003	0.005	0.001	0.004	0.000	▲ 0.004	▲ 0.005
2020	0.002	0.006	0.003	0.002	0.002	0.003	0.003	0.002	0.001	▲ 0.006
2021	▲ 0.001	▲ 0.002	0.000	0.002	0.004	▲ 0.001	0.004	▲ 0.000	0.014	▲ 0.008

年度	XI 消化器系の疾患	XII 皮膚及び皮下組織の疾患	XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	XIV 腎尿路生殖器系の疾患	XV 妊娠、分娩及び産じょく	XVI 周産期に発生した疾患	XVII 先天畸形、変形及び染色体異常	XVIII 放射線、薬物及び有害物質による疾患並びに中毒及びその他の外因の影響	XIX 特殊目的コード
2019	0.004	0.000	0.013	0.00	0.024	▲ 0.003	▲ 0.004	0.000	▲ 0.000
2020	0.008	▲ 0.001	0.016	0.00	0.023	▲ 0.001	▲ 0.008	0.001	▲ 0.006
2021	0.008	▲ 0.000	0.010	0.00	0.022	▲ 0.005	▲ 0.007	0.000	▲ 0.023

妊娠等の地域差指数は、2019から0.024、0.023、0.022と推移しており、各年度で最も高い数値である。



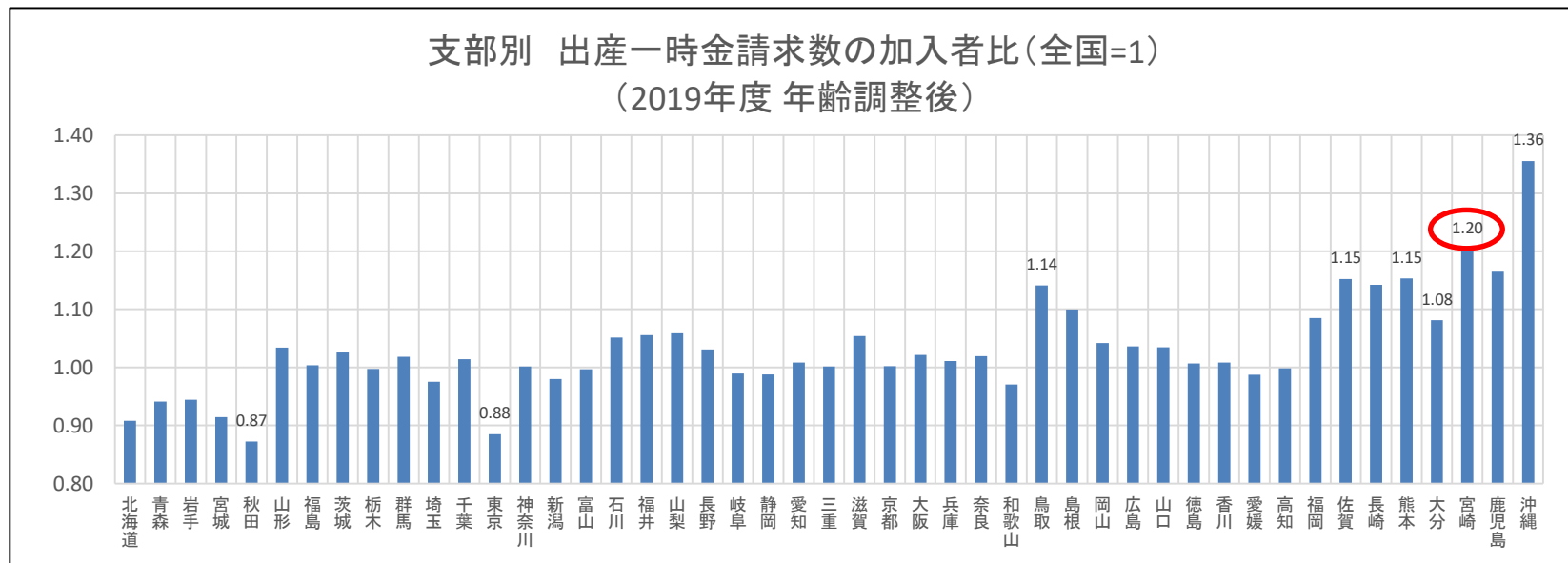
※地域差指数-1が0.01を超えている場合は、表のセルが塗色されている。

## 支部別の対加入者出産比の状況

妊娠等の医療費は、主に妊娠・出産に関連して発生する医療費であり、女性の加入割合や年齢、地域の出産発生率等に影響を受ける。

協会けんぽでは加入者の出産等※に対し出産育児一時金という給付金が支給されるが、宮崎支部の10歳～49歳の女性加入者に対する出産育児一時金の請求件数の比は、全国平均の約1.20倍であり、全国で2番目に高い水準であった（全国平均が約3.2%、宮崎支部は年齢調整後で約3.73%。なお沖縄支部は約4.2%）。

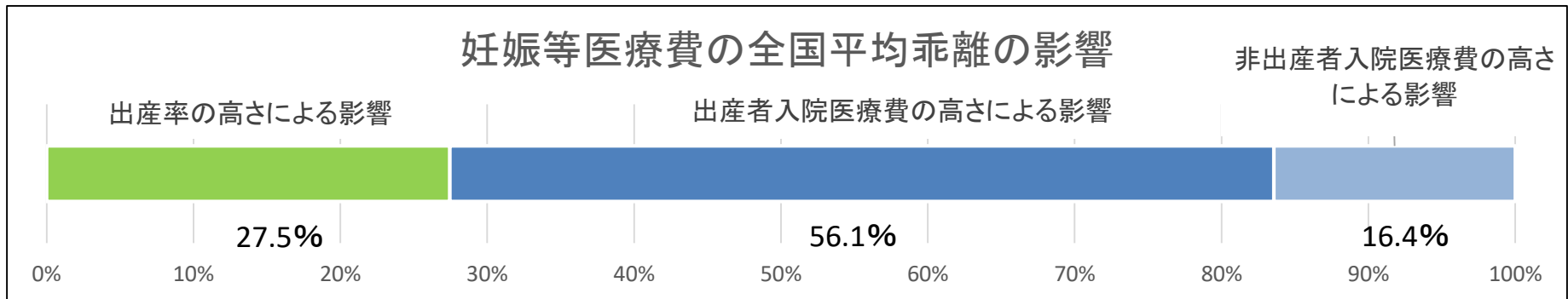
2019年度人口動態統計年報による合計特殊出生率も全国で2番目に高く（一位はいずれも沖縄県）、宮崎支部は背景として出産が多く、妊娠の医療費が高くなりやすい状況であると言える。



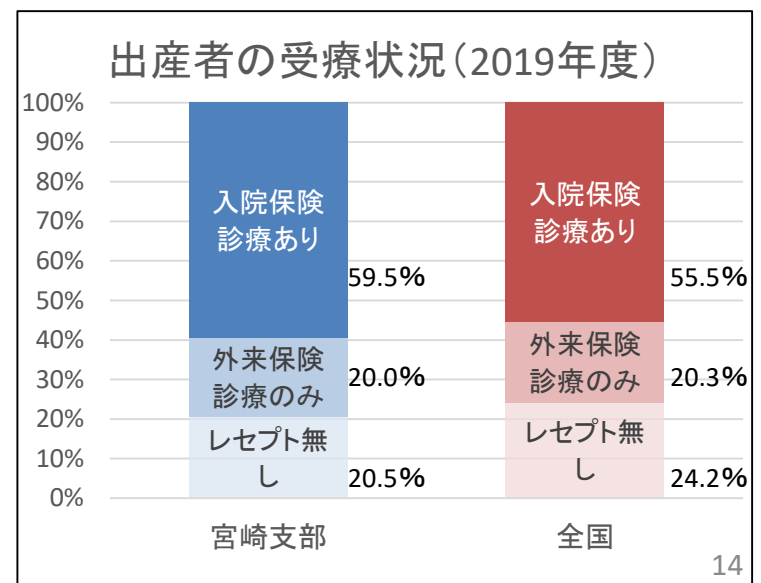
※妊娠85日以後の死産等を含む出産に対し支給される。

## 妊娠等入院医療費の高さの要因分析（1/2）

しかし、宮崎支部の妊娠等の医療費の全国との差について、出産比率や入院医療費の水準を全国平均に機械的に置き換えることによる影響額を確認すると、出産比率の高さが最大約27.5%影響している試算結果だったことから、医療による影響も大きいと考えられる。



実際に出産者の入院割合を比較すると、宮崎支部は出産者の59.5%が入院している状況（全国は55.5%）であり、外来保険診療のみの割合は、全国とほぼ変わらないため、宮崎支部では単に出産者が多だけでなく、**出産者に入院保険診療が行われる割合も高い**という特徴が見られた。



## 妊娠等入院医療費の高さの要因分析 (2/2)

傷病別に見ると「妊娠糖尿病」という病気での入院が全国より高く、全国2位の入院割合で、全国との差額の約2割がこの傷病から発生している事が分かった。

